

## 2学期「全校テスト」が終わりました

運動会後から、2週間に1度、合計5回取り組んできた全校テストが終わりました。漢字・計算それぞれの部で、全て満点だった児童に「パーフェクト賞」を、漢字・計算とも全て満点だった児童に「スーパーパーフェクト賞」の表彰状を渡しています。

学校自己評価の一環として11月に実施した「児童アンケート」結果によると、「全校テストに向けて計画的に勉強した」と答えた児童の割合は、低学年と高学年を比較しても顕著な差は見られません。低学年でも、自主的計画的に学習する習慣がついてきているとすれば、大変喜ばしいことです。

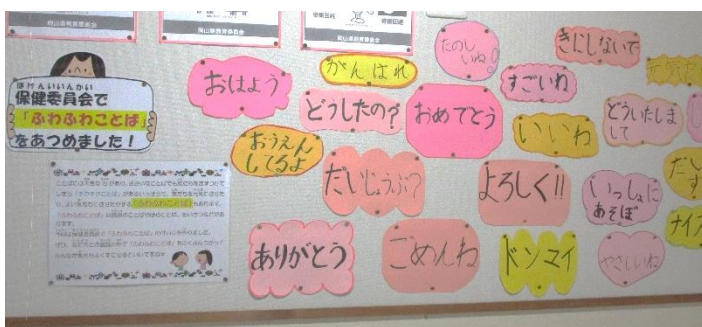
3学期も回数は少なくなりますが、引き続き全校テストを実施します。問題の出題範囲は10日前には予告します。10日前から少しずつ出題範囲の復習に取り組むなど、自主的に学習する力を身に付けてほしいと思います。

## 「えがおみのる木」

12月10日(金)の人権を考える会で、児童会企画委員会より、友だちのよいところやすてきなところを見つけて「えがおみのる木」を作ろうと提案がありました。低・中・高学年ごとに違う種類のフルーツのカードに、友だちのよいところやすてきなところを書いて貼り、幹までたわわに「実った」木ができて上がりました。毎月全学級で取り組んでいる「友だちのよいところを見つける活動」とリンクしている内容も多くありますが、中には他学年の友だちのことを書いている人もいて、学年の枠を超えて人のよいところを見ようとする姿勢がすてきだなと感じました。



## 「ふわふわことば」を使ってね



ものを掲示してくれています。

保健委員会では、言葉の力に着目した活動を行いました。人を傷つける「チクチクことば」がある一方で、人を元気づけたりよい気持ちにさせたりする「ふわふわことば」があります。感謝の言葉やほめ言葉、あいさつなどがこの「ふわふわことば」にあたりと気づき、委員会で集めた

ものを掲示してくれています。友だちとの会話の中でたくさん「ふわふわことば」を使ってもらい、みんなが気持ちよくすごせる木山小学校でいてほしいとの願いがこめられています。

## 5年生おかざりづくり体験

1学期から総合的な学習の時間に米作りに取り組んできた5年生、12月14日(火)には、おかざりづくりに挑戦しました。材料のわらは、学校評議員の西山さんが予め準備を

整えて持って来ていただきました。まずは、よく叩いて扱いやすくしてあるわらで1人2つ作って練習します。慣れるまでは、なう作業そのものが大変難しく、輪になる部分を形作る工程まで友だちと協力してより合わせていましたが、慣れてくると、1人でなうことができるようになってきました。その後は、「実しらず」と呼ばれる青いわらで本番用を作っていました。しかし、利き手側と反対になっていくのはとても難しく、校長をはじめ苦戦していた人もいました。西山定明さん、福島喜代治さん、福島史利さん方のお力添えで、何とかみんな無事完成しました。

手作りのおかざりが明るい新年を運んでくれることでしょう。3人の講師の先生方には、事前準備から当日のご指導まで大変お世話になり、ありがとうございました。



## 箏発表会

5・6年生は、毎年特別非常勤講師の方から5時間ずつ箏の指導をしていただいています。したがって、5年生にとっては初めて、6年生にとっては2年目ということになります。今年の曲はともに「さくら」でしたが、学年によって難易度が違います。2部のパートに分かれて奏でていくのは同じですが、経験のある6年生にはトレモロやソロパートなども入り、ハイレベルな編曲になっていました。しかしながら、5・6年生ともわずか5時間の練習で「よくぞここまで」と思えるほどの上達ぶり。

この日は、来年箏学習を体験する4年生が5・6年生の発表を一緒に聴きました。どの学年の子どもたちも、目の前で奏でられる箏の音色にひきこまれるように聴き入っていました。4・5年生は、来年の箏学習が一段と楽しみになったようです。

